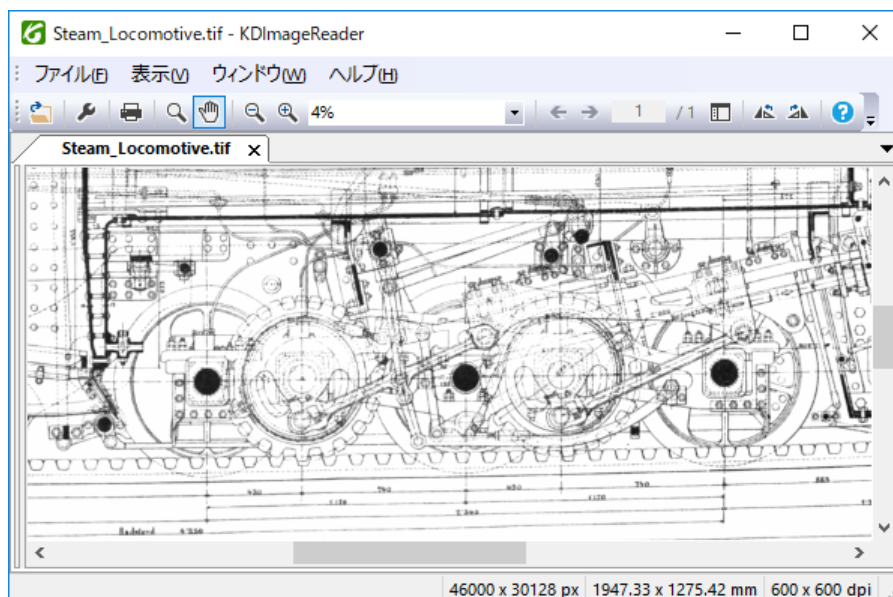


KDImageReader

画像ビューア KDImageReader 製品カタログ

KCS カーネルコンピュータシステム



KDImageReaderは、非常に大きなイメージデータを表示できるシンプルなビューア製品です。

特長

- ・ 10mを超えるようなフルカラー画像(600DPI)など、非常に大きなデータを読み込めます。
- ・ 表示に必要なメモリが少ないため、メモリ搭載量の比較的少ない 32bit OS でも大きなカラー画像を表示できます。
- ・ 独自の並列処理アルゴリズムにより、利用できるコア数に応じた処理を行います。

動作環境

Windows 7

Windows 8 / Windows 8.1

Windows 10

Windows Server 2008 R2

Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2

Windows Server 2016

※64bit環境では、32bitアプリケーションとして動作します。

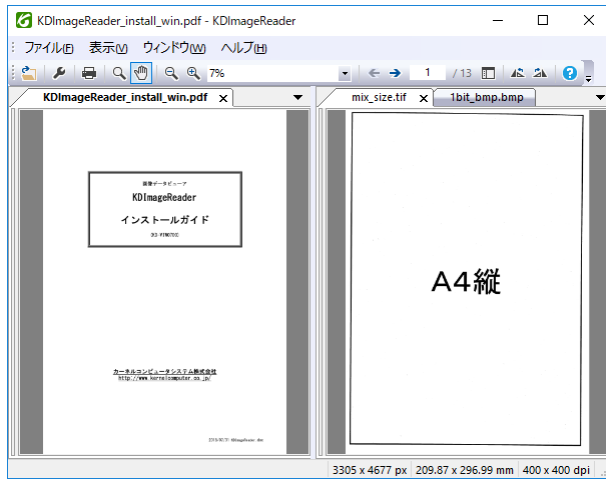
標準価格

型番	製品名	ライセンス数	価格(税抜)
KD-VIW0700	KDImageReader	5	5万円
		10	9.5万円
		20	18万円
		50	40万円
		100	75万円

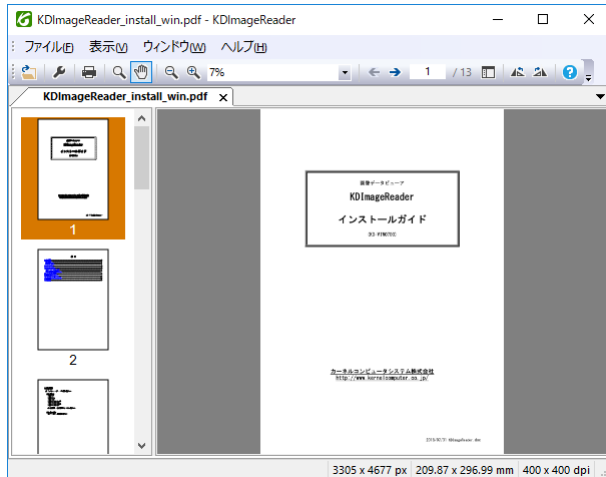
主な機能

◇ 表示

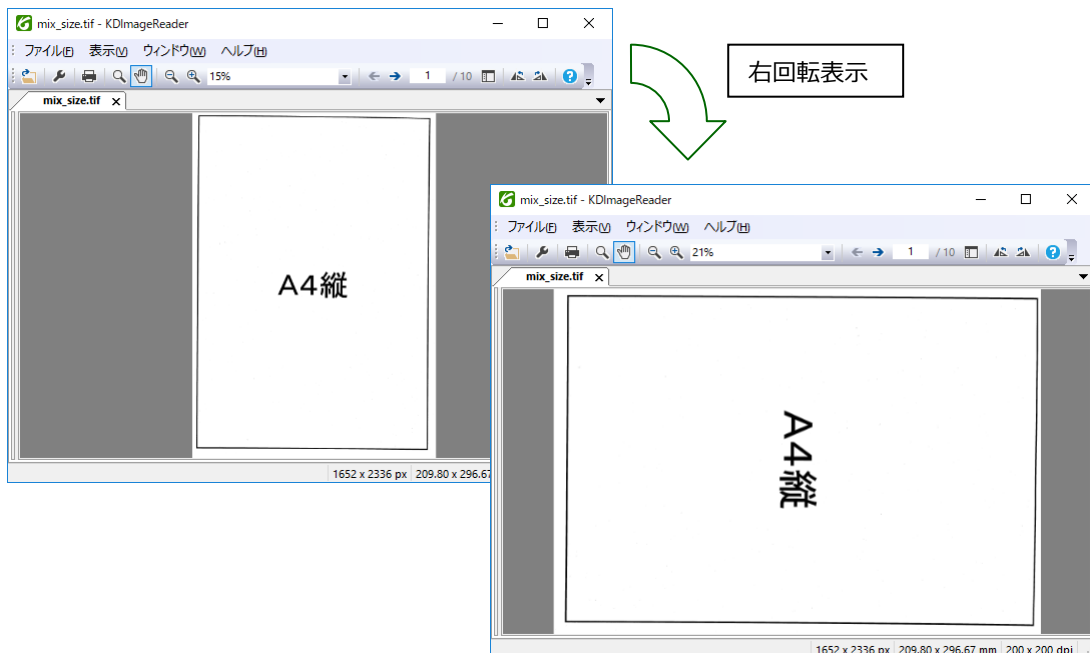
- 複数の画像をタブ形式で表示できます。それらを上下または左右に並べて表示できます。



- マルチページ画像のサムネイルを表示できます。



- 表示データの回転(90度単位)を行うことができます



◇ PDFファイルの制限事項

1. PDF はイメージに変換してから表示します。
2. 以下の形式の PDF ファイルは、入力ファイルとして扱えません。
 - ・ ページの縦か横が 10m を超える PDF
 - ・ AcrobatX で拡張された機能が使用された PDF
3. PDF ポートフォリオは未対応です。(通常の PDF ファイルとして表示されます。)
4. 壊れている PDF は正常に表示できません。
5. 一部のシェーディングが正しく表示できません。
6. 一部のブレンドモードに対応していないため、透過した図形の色合いが微妙に異なる場合があります。
7. JavaScript を利用した機能は有効になりません。
8. PDF で指定されたフォントがインストールされていない場合に、一部の文字が正しく表示されないことがあります。
この問題は、PDF を作成するときにフォントを埋め込んでおくことでも回避することができます。
9. JPXDecode(JPEG 2000)のうち拡張機能が使用されているイメージは、表示できません。
10. 使用されている色空間によって、変換後に色合いが変わることがあります。

